

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

| | | | |
|--|--|---|-----------------------|
| 事業名 一般国道2号 松永道路 <small>まつなが</small> | 事業区分 一般国道 (二次改築) | 事業主体 中国地方整備局 延長 7.1km | |
| 起終点 自：広島県福山市神村町 至：広島県尾道市高須町 <small>ふくやま かむらちよう</small> <small>おのみち たかすちよう</small> | | | |
| 事業概要 一般国道2号は、大阪市から北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 松永道路は、高規格幹線道路の尾道・福山自動車道並びに地域高規格道路「福山倉敷道路」の一部を構成する7.1kmの道路である。 | | | |
| S47年度事業化 | S49年度都市計画決定 | S52年度用地着手 | |
| S53年度工事着手 | | | |
| 全体事業費 約550億円 事業進捗率 91% 供用済延長 4.6km 計画交通量 51,800台/日 | | | |
| 費用対効果分析結果 B/C： (事業全体) 6.8 (残事業) 9.4 | 総費用 ：(残事業)/(事業全体) 51/1,099億円 (事業費：40/988億円 維持管理費：12/111億円) | 総便益 ：(残事業)/(事業全体) 481/7,520億円 (走行時間短縮便益：419/6,178億円 走行費用減少便益：48/1,048億円 交通事故減少便益：14/294億円) | 基準年 ： 平成15年 |
| 事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（新幹線駅福山駅へのアクセス向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成） 他11項目に該当 | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 松永道路は、交通混雑の解消、地域連携強化等に重要な役割を果たすことが期待されており、福山市をはじめとする関係6市6町の首長等で構成される山陽道建設促進期成同盟会より、早期整備の要望を受けている。 | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 山陽自動車道、西瀬戸自動車道など広域交通網の要衝であるとともに交通量の増大により、慢性的な交通混雑並びに交通環境の悪化が生じている。 | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 平成12年度までに全線暫定供用し、平成14年度までには4.6kmを完成供用している。 | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る区間の工事の進捗を図り、早期全線供用を目指し事業を推進する。 | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 ・扁平なトンネル断面を採用し、内空断面を縮小することにより、コスト縮減に努めている。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、コスト縮減に努めている。 | | | |
| 対応方針 事業継続 | | | |
| 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | |
| 事業概要図 | | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの